



朝鮮労働党第8回大会の歴史的意義

ハリシュ・グプタ

チュチェ思想国際研究所副理事長

アジア・チュチェ思想研究所理事長

朝鮮労働党第8回大会が、2021年1月5日から1月12日までの間、朝鮮の首都平壤で成功裏に開かれました。朝鮮人民ならびにチュチェ思想研究者をはじめ、世界の進歩的人民の大きな期待のなかで開催されました。

朝鮮労働党は、金日成主席、金正日総書記、そしていま金正恩総書記にいたる偉大な指導者の領導のもと、75年におよぶ朝鮮民主主義人民共和国における革命と建設を成功裏に導き、確固たるチュチェの社会主義経済建設において偉大な成果を達成してきました。

各界各層からの多くの代表の参加のもとに朝鮮労働党第8回大会が、全世界が新型コロナウイルス感染症の大流行により大混乱に陥っている今日の状況下で開催されたことは、驚くべきことです。実に、世界的なコロナ禍により、数百万人の命が奪われ、世界各国の政府によって繰り返しておこなわれた非常事態宣言や他の制限措置により、世界中のあらゆる経済、社会、政治活動が停止状態になっています。朝鮮労働党第8回大会は、まさにそのような世界の状況下で開催されて開かれたのです。

朝鮮では、新型コロナウイルス感染症が1例も発症していないことは、驚くべきことであると同時にすばらしいことです。

金正恩総書記の先を見通した指導のもとに、適時に効果的に、朝鮮におけるコロナ禍を抑え込むことができたのは、朝鮮労働党のコロナ禍を封じこめようとする断固たる立場と警戒心により、実現したことでした。

団結と結束の雰囲気なかで開催された朝鮮労働党第8回大会は、金正恩委員長長の司会のもとに進行しました。金正恩委員長は、全会一致で朝鮮労働党総書記に選出されました。これは、朝鮮人民と朝鮮労働党全党員の金正恩総書記への信頼と敬意、支持と確信の表示でした。

金正恩総書記は、開会の辞で、2016年に開かれた朝鮮労働党第7回大会以後、5年間に大きな成果が収められたことについて述べました。また、総括期間にあらわれた欠点や失敗を率直に批判しました。金正恩総書記はまた、欠点を精査するためのさまざまな方途を提起しました。

金正恩総書記は、総括期間におけるさまざまな成果について言及しながら、「今後、自力で経済発展を持続させていける大切な元手がもたらされ、ここで有意義な成果は、朝鮮式社会主義の存立の物質的基礎であり、生命線である自立的民族経済、社会主義経済の礎を堅持し、その命脈を守り抜いたことです」と述べました。

金正恩総書記は大会報告のなかで、朝鮮労働党は帝国主義にたいしてまったく幻想をいだいていないとし、対外活動において、「われわれの自主権を侵奪しようとする敵対勢力の策動を粉碎し、わが国家の正常な発展権を守るための外交戦を攻勢的に展開しなければならない」と述べました。さらに、「朝鮮労働党は、朝鮮革命を発展させるうえでの基本的な障害であり、朝鮮人民にとっての主敵であるアメリカを打ち負かし、屈服させることに主要な力点をおくことに対外的な政治活動の方向をさだめるべきです」と指摘しました。

朝鮮は米国にたいして巧みな戦略をとっていくだろうし、世界の反米自主勢力との連帯を拡大していくであろうと、わたしは考えます。

金正恩総書記は、朝鮮の国防力をさらに高い段階に引き上げるよう呼びかけました。また、北南朝鮮問題と統一問題についても言及しました。金正恩総書記は、平和と統一について多くを語りながら、そして北南首脳会談までおこなっておきながら、その一方で米国と合同軍事演習を強行し、軍事支出を大きく増大させた南の政権担当者の二面的、二枚舌的な対応を非難しました。

しかし、金正恩総書記は、朝鮮半島問題で、今後交渉や平和的解決の可能性のあることを除外していません。また、朝鮮は善には善で、力には力で対応するであろうと声明しました。さらに、朝鮮は責任ある核保有国として、核兵器を悪用することはないであろう、朝鮮の核抑止力は、本質的に防衛的なものであると明らかにしました。

金正恩総書記は、自力更生はこれまでも、そして今後も朝鮮の経済戦略の基本になるであろうと述べ、自力更生の重要性を強調し、つぎのように述べています。

「計画の核心、テーマは、依然として自力更生、自給自足です。朝鮮革命発展の要求、社会主義建設の緊迫した要求から新たな展望計画期間の自力更生は、国家的な自力更生、計画的な自力更生、科学的な自力更生に発展させるべきです」

わたしは、朝鮮では、経済部門にたいする国家の指導的役割や管理が拡大されていくと思います。朝鮮の経済活動は、人民に奉仕する活動であり、本質的に社会主義的性格をもちます。

金正恩総書記は、つぎのように述べています。

「われわれの国家経済は自立経済、計画経済であり、人民に奉仕する経済です。国家経済の自立性と計画性、人民性を強化するには、国家の経済組織者としての機能を高め、経済活動の結果が人民の福祉増進に振り向けられるようにする原則にしたがって生産物に対する統一的な管理を実現すべきです」

わたしは、人民本位の経済は、市場経済にも依存経済にもなりえないと考えます。計画化の役割を強めることは合理的なことです。なぜなら、経済活動は、自然同様、人間の利益のために管理され、役立てられなければならないからです。

朝鮮労働党第8回大会は、チュチェの社会主義建設で新たな飛躍を達成するための闘争綱領をうちだしました。第8回党大会は今後かかげる主な理念として、「自力更生」「以民为天」「一心団結」を採択しました。

金正恩総書記は、第8回党大会の最終日におこなった結語のなかで、今後の新たな5か年計画期間における朝鮮労働党がかかげる細部にわたる闘争綱領を明らかにし、つぎのように述べました。

「社会主義経済建設は、こんにち、われわれが総力を集中すべきもっとも重要な革命課題です」

「金属工業と化学工業の発展を先行させる原則に立って、国家的な経済組織活動を綿密におこなうべきです」

農業部門と関連して、金正恩総書記はつぎのように述べています。

「新たな5か年計画期間に農業部門がいつそう奮発し、国家的な投資を増やして穀物の生産目標をかならず達成しなければなりません。とくに、今後2～3年の間に毎年国家義務買付け計画を2019年度の水準に定めてかならず達成し、将来は買付け量を増やして人民に正常に食糧を供給できるようにすべきです」

また、軽工業部門と関連して、つぎのように述べています。

「軽工業部門では新たな5か年計画期間、原料、資材の国産化、再資源化をキーポイントとしてとらえ、消費財の生産を増やして人民の生活向上のための闘争で新たな前進をもたらさなければなりません」

金正恩総書記はまた、科学技術と関連してつぎのように述べています。

「科学技術は社会主義建設を牽引する機関車であり、国家経済の主たる発展の原動力です。新たな5か年計画期間、国の科学技術水準を一段と引き上げ、科学者、技術者と生産者の間の創造的協力を強めて、経済建設と人民の生活向上で提起される科学技術上の問題から一つひとつきちんと解決しなければなりません」

金正恩総書記はまた、教育と保健医療問題と関連してつぎのように述べました。

「新たな5か年計画期間に教育と保健医療の発展に国家的な力を入れて、中央と地方とを問わず、人民が社会主義教育制度と保健医療制度の優越性を肌で感じられるようにすべきです」

また、第8回党大会において、今後住宅が不足することがないよう都市と農村でさらに多くの住宅を建設することが決定されました。さらに、公共交通がもっと改善されなければならないとして、新型の地下鉄とトロリーバス、路面電車、旅客バスをはじめ大衆交通手段をより多く生産することが発表されました。

金正恩総書記は、国防力の強化についてつぎのように述べました。

「核戦争抑止力をさらに強化するとともに、最強の軍事力を備えることに全力を尽くすべきです。人民軍の最精鋭化、強兵化に引き続き拍車をかけて、いかなる形態の脅威と不意の事態にも国家防衛の主体としての使命と役割を果たせるようにしっかり準備させるべきです」

朝鮮労働党は、今後の5か年間に、すべての闘争綱領を成功裏に実施するために、党規約を改正しました。朝鮮労働党は、総括期間における過ちを二度と繰り返さないために、全力を投じるであろうとわたしは確信します。朝鮮労働党第8回党大会では、そこで提起された重要な革命課題を成功裏に遂行するために、人民の利益を重視して、いつも人民のためにはたらく党として朝鮮労働党を強化していくことが決定されました。また、党が今後正常に機能するための細部にわたる指針もうちだされました。

第8回党大会で金正恩総書記は、つぎのような誓いの言葉を述べました。

「わたしは、偉大な金日成・金正日主義党を代表し責任をもつという聖なる使命感を深く自覚し、党大会がうちだした闘争綱領を実現するために全力を尽くすであろうし、偉大なわが人民をわたしの運命の天のごとく見なし、真の人民の忠僕として為民献身の道で決死奮闘するであろうことを厳かに誓います」

朝鮮人民は、活力あふれる尊敬する指導者金正恩総書記によって導かれる朝鮮労働党の人民本位の政策のもと、数年後にはさらに幸福で豊かな生活を享受することができることを願っています。

わたしたちもまた、全朝鮮人民の前途が洋々と開け、人民がさらに高い生活水準を満喫していくことを願っています。わたしたちは、尊敬する金正恩総書記の優れた先見性のある指導のもとに、チュチェの社会主義朝鮮はますます栄えていくであろうと確信しています。